

# こども病院の 人工島移転

# 許さない!!

# の声をさらに大きく広げよう



## 反対署名 総計17万人

「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」の請願署名は9万3,586人。患者家族らの署名も8万人を超えました。この声を無視することは許されません。



福岡市の吉田宏市長が「こども病院の人工島移転決定」を表明したことに市民から怒りの声があがっています。広がる反対世論を無視し、選挙公約にも反する市長の態度はあまりにも異常です。日本共産党は断固抗議します。白紙撤回をもとめて、市民と力をあわせて、さらにがんばります。

## 「移転反対」請願は継続審議 議会審議はこれからです

(共産、ネットが「採択」、民主が「不採択」、自民、公明、みらいが「継続」を主張。=7月22日第2委員会)

市議会は、これから市長方針を受けて本格審議に入ります。市民世論を反映させた審議となるか、各党派の態度がきびしく問われます。日本共産党は徹底審議のための「特別委員会」設置を議長に申し入れました(8月11日)。

### 民主

#### 9万署名に唯一反対

7月22日の市議会第2委員会、9万署名の「こども病院の人工島移転反対」請願に反対したのは、民主市民クラブだけ。民主党は吉田市政与党として、人工島事業もこども病院移転も推進する先頭に立っていますが、市民の声が聞こえないのでしょうか。

### 自民 公明 みらい

#### 「人工島しかない」とあおる

自民党、公明党、みらい福岡は、もともと「こども病院と市民病院の統合・人工島移転」を推進。今も「移転先は人工島しかない」などと言っています。「市長案に83%が反対」(自民党の市民アンケート結果)との願いを無視して、市長提案に賛成することが許されるでしょうか。

**気になるのは銀行?** 人工島の病院用地が当初計画の5%から縮小されることについて、「博多港開発の銀行団の了解が得られる見込みがあるのか、大変危惧される」(みらい)、「銀行から見放され資金が滞るのではないか」(自民) ※いずれも07年9月議会

### 共産党 白紙撤回もとめ がんばる

議会で問題点を次々明らかにし、子どもの命より人工島を優先する市長を追及。市当局も苦しい言い訳に終始しています。

共産党市議団は署名運動にも協力。「市民の声をきちんと聞いてくれるのは共産党だけ」との激励も受けています。さらに他党派にも働きかけて、こども病院の人工島移転をやめさせるためがんばります。



南区 宮本秀国 (団長) 早良区 中山いくみ (幹事長) 中央区 星野美恵子 博多区 ひえじま俊和 城南区 倉元達朗 西区 熊谷敦子

ご意見、ご感想をお寄せください。  
うら面もご覧ください。

## 日本共産党 福岡市議団

www.jcp-fukuoka.jp

### 命と健康まもる政治へ全力

日本共産党は、国の医療改悪や公立病院つぶしに反対し、子どもの医療費無料化や国民健康保険料の引き下げなどを住民とともに実現してきました。

## 後期高齢者医療制度 廃止に追い込もう

しんぶん赤旗  
日刊2,900円 日曜版800円



# なぜ「人工島」にこだわるの？

市長や市議会の一部が「人工島への移転」にこだわるのは、なぜか。  
人工島の候補地は第3セクター「博多港開発」の売れ残っている更地。  
これを早く埋めたいというのが狙いです。

博多港開発は造った土地が売れずに破たんし、売却済みの約8割に税金・公金が投入されていますが、それでも赤字続き。病院用地は3万㎡として40億円。人工島事業を推進したい財界や、博多港開発の借金返済を求める銀行にとって願ったりかなったりです。こども病院の人工島移転を推進する勢力がどちらを向いているか明白です。

## 「検証」業務をした会社は、実は…

市長の「検証」がでたらめだったことが明らかになりました。  
吉田市長が昨年おこなった「病院移転の検証・検討」は、実際には「業務委託」として外資系コンサルタント会社に丸投げしていました。しかもその会社は山崎前市長時代に病院移転の具体的な準備を進めた会社。吉田市長はその実績を買ってその後4回も契約しています。「検証」とはポーズだけで、「人工島移転」は始めから決まっていたとは重大問題です。

さらに、現地建て替えは困難だとその前提で同じ会社にシミュレーションを行わせたり、「検証・検討」で人工島以外の候補地が不利になるような数字の操作を行ったりしたことも判明しています。

日本共産党市議団の質問状に、市長からまともな回答はありません。

## 市長公約はなんだったか

「子ども病院の人工島への移転計画を見直す」—これが吉田ひろしオフィシャルサイトに掲載された「市民との約束」=選挙公約です。「見直したけど人工島」というのでは公約を守ったことにはなりません。

また「市民の声を聞き、市政に反映させる」というのも公約でしたが、これもすっかり破られました。



吉田市長のピラやホームページから  
(06年11月当時)

## 「子育て日本一」も公約違反

吉田市長の公約違反はこれだけにとどまりません。人工島事業は「大胆に見直す」との公約でしたが、2年連続で200億円以上の予算を付けて推進しています。とくに子育て関係の公約違反はひどいものです。

- 【公立保育所民営化】 公約「中止する方向で見直す」 → 民営化推進
- 【少人数学級】 公約「小学校全学年で早期実現」 → 今年度拡充せず
- 【留守家庭子ども会】 公約「無料化」 → 議会否決で実現できず
- 【児童館】 公約「全区に整備」 → 「私の公約ではない」

わずか1年半でこれほどの公約違反を連発する市長がかつてあったでしょうか。選挙目当ての公約で、当選したら知らんぷり…だから「うそつき市長」と市民が怒っているのです。



## 人工島に移転されれば「命が救えない」

こども病院(中央区唐人町)は市のほぼ真ん中にあり、地下鉄の駅や都市高ランプから近く、通院でも救急搬送でも便利な場所です。市内の小児科医院、産婦人科医院と連携し、重い病気や障害のある子どもの治療に重要な役割を果たしています。もし東区の人工島に移転したら、配置バランスが崩れ、西部地域が小児救急医療の空白地に。こども病院の代わりになる病院はありません。搬送の時間が長くなれば「助かる命も救えない」と、小児科医や患者家族は強く反対しています。

## 一番大事なものは「便利さ」 共産党「現地建て替えまたは周辺で」

こども病院の患者は長年にわたって通院します。交通手段の不便な人工島では苦勞が増すばかり。さらに、埋立地なので地震など自然災害に耐えられるのか、不安の声も当然です。

市長は「場所の便利さよりも敷地の広さが大事」などと、いつの間にか3万㎡以上の広さが必要だから人工島しかないと言っています。しかし、「いい病院ができて、患者がたどり着けなければ命は救われない」(患者家族)のです。子どもの命を一番に考えれば、人工島移転などありえません。

日本共産党は、交通利便性を最優先する立場から、現在の場所で建て替えるか、移転するにしても近隣地で検討すべきだと主張してきました。費用・技術面からみても可能だと考えます。

## 市民の声を届けよう

吉田宏市長 福岡市中央区天神1-8-1 電話 711-4111 (代)

### < 市議会 >

自民党(20人)	電話 711-4722 FAX 741-4874 メール <a href="http://www.jimin-fukuokacity.com">www.jimin-fukuokacity.com</a>
公明党(12人)	電話 711-4728 FAX 741-4597 メール <a href="mailto:uketsuke@komei-fukuokacity.net">uketsuke@komei-fukuokacity.net</a>
民主市民クラブ(10人)	電話 711-4736 FAX 732-4055
みらい福岡(7人)	電話 711-4725 FAX 741-4860 メール <a href="mailto:mirai.f@mirai-f.gr.jp">mirai.f@mirai-f.gr.jp</a>
ふくおかネットワーク(3人)	電話 711-4739 FAX 725-0609 メール <a href="mailto:city-net@pearl.ocn.ne.jp">city-net@pearl.ocn.ne.jp</a>
社民市政クラブ(2人)	電話 711-4731 FAX 741-4507 メール <a href="mailto:council@shamin-fukuoka-city.gr.jp">council@shamin-fukuoka-city.gr.jp</a>
福政市民クラブ(2人)	電話 711-4192 FAX 716-5577
無所属 高山市議	電話 711-4752 FAX 714-0188

ご意見、情報をお寄せください

日本共産党福岡市議団 電話 711-4734 FAX 741-4627  
メール [info@jcp-fukuoka.jp](mailto:info@jcp-fukuoka.jp)

# 白紙撤回し、市民参加で再検討を 日本共産党